

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード, 課コード, 会計種別, 一般会計, 予算の種類, 政策, 経常, なし

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, (8)施行事項, (9)財源内訳, (10)人件費等.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が今必要である理由, (2)市が実施する必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1)目標設定は適切か?, (2)事業費削減の工夫, (3)目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (1840), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (2099), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for budget, personnel, and performance metrics.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (2136), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2015-2017.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns for 評価, 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (2165), 課コード (0201), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	2169	課コード	0201	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた調整		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	企画財政部・企画課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成31年度			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.02人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	178千円 (うち人件費 178千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	43101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	市民や子どもたちの国際性を育むため、国際性豊かなイベントや地域での体験イベント、国際交流団体などが実施する講座、展示会などにより、外国の文化や習慣など、国際理解を深めるための情報を提供します。			事業目的	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、事前キャンプ誘致を初めとした外国人の受入れ環境の整備を行い、大会期間中に来市する国内外からの大会関係者や選手、観客をサポートできるよう、都市ボランティア意識の向上を図りながら、市民の障害者に対する理解や国際理解を図る。				
(3) 事業内容	内容	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催にあわせ、我孫子市を含む被災地を聖火リレーのルートとするよう一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ要望を行い、実現に向けた体制作りを行って行く。また、2018年女子ソフトボール世界大会などを含む事前キャンプ誘致に向けた情報収集や体制を整えるための調整を図るとともに、市民に対して嘉納治五郎などオリンピックと関わりのある我孫子市内の資源の活用や障害のある人への理解や国際理解を深める。			当該年度執行計画	・ 市内検討委員会の開催 (4回) ・ 事前キャンプ誘致への取り組み (通年)				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標	単位	回	想定値	実績値
当該(開始)年度	オリンピックに伴う外国人等受入体制の整備				直接	市内検討委員会による事前準備進捗率	回		0	30
3年後	オリンピックに伴う外国人等受入体制の整備				間接	市内検討委員会による事前準備進捗率	%		0	50
最終(概ね5年後)	オリンピックを通じた市民の障害のある方や外国人に対する理解向上				間接	事前キャンプおよび外国人交流の実施率	%		0	90
(7) 事業実施上の課題と対応	事前キャンプ誘致が実現するかどうかの見通しが不透明なため、誘致できない場合の交流事業の検討を近隣市等との連携を視野に入れる必要がある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	平成27年度		平成28年度			平成29年度			平成30年度	
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		0		0		0		0	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0		0.02		0		0	
	正職員人件費		0		178		0		0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		0		178		0		0	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		44.5千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	2020年東京オリンピック・パラリンピックと2018年に女子ソフトボール世界大会の開催が千葉県内で開催されることが決定し、事前キャンプ誘致に向けて受け入れられる体制を整える必要があるため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
必要性	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
		●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>				
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他		工夫の具体的な内容 事前キャンプ誘致が実現し、実施の際にはボランティアによる協力が欠かせないため、市民や学生等によるボランティアを活用する。		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
		<その他の内容>								
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 ■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している □⑤その他		取組む内容 キャンプ誘致に際しては、自然環境のよさを売りにしていく。		実施した具体的な内容		環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
		<その他の内容>								
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (回)	目標値(b) (回)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f) (回)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実施状況	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e) 1,685.39		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				